

茨 城 県

(解答番号 ～)

第 1 問 茨城県の人口・交通に関する次の問い(問 1 ～ 3) に答えよ。(配点 16)

問 1 次の表 1 は、茨城県と一般的に「都会」と呼ばれる 3 府県の人口等に関する指標を比較したものであり、次のア～エは、茨城県、京都府、宮城県、広島県のいずれかである。都道府県名とア～エとの正しい組合せを、後の ① ～ ⑧ ののうちから一つ選べ。

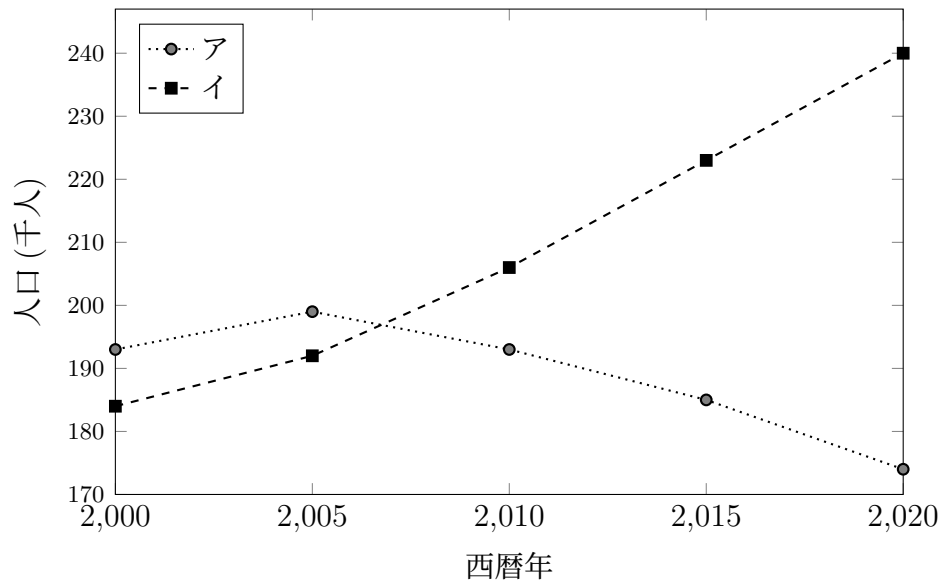
	ア	イ	ウ	エ
人口 (万人)	254	292	229	282
面積 (km ²)	4,612	6,097	7,282	8,480
最大都市人口 (万人)	140.9	27.1	106.4	119.5

いずれの項目も統計年次は 2020 年。住民基本台帳人口・世帯数表 2020 ほかより作成。

表 1

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
茨城県	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ
京都府	イ	ウ	ア	エ	ア	エ	イ	ウ
宮城県	ウ	エ	ウ	ア	イ	ア	ウ	イ
広島県	エ	イ	エ	ウ	エ	イ	ア	ア

問 2 次の表 2 は、茨城県で 2、3 番目に人口の多い市町村の人口推移を記したグラフである。これについて、後の問いに答えよ。



各自治体の統計資料より作成。

表 2

(i) 表 2 中のア、イは次の選択肢中の自治体のうちのいずれかである。イに当てはまる自治体名を次の ① ～ ⑥ のうちから一つ選べ。 2

- ① 取手市 ② 日立市 ③ 小山市 ④ 古河市 ⑤ つくば市 ⑥ 伊勢崎市

(ii) アの自治体において人口が減少している理由として最も不適当なものを次の ① ～ ④ のうちから一つ選べ。 3

- ① 近隣の原子力発電所が事故を起こしたことによる影響。
 ② 少子化によって子供の出生数が減少した影響。
 ③ 地元で創業した企業グループの再編による影響。
 ④ より恵まれた住環境を求めた近隣市町村への移住による影響。

問 3 次の図 1 は、茨城県内の主要な鉄道路線を示したものである。ア～カは鉄道駅を指しており、以下の A・B は、そのいずれかの駅の説明である。駅に関する説明と合致する選択肢を、次の ① ～ ⑥ から一つずつ選べ。

4

5

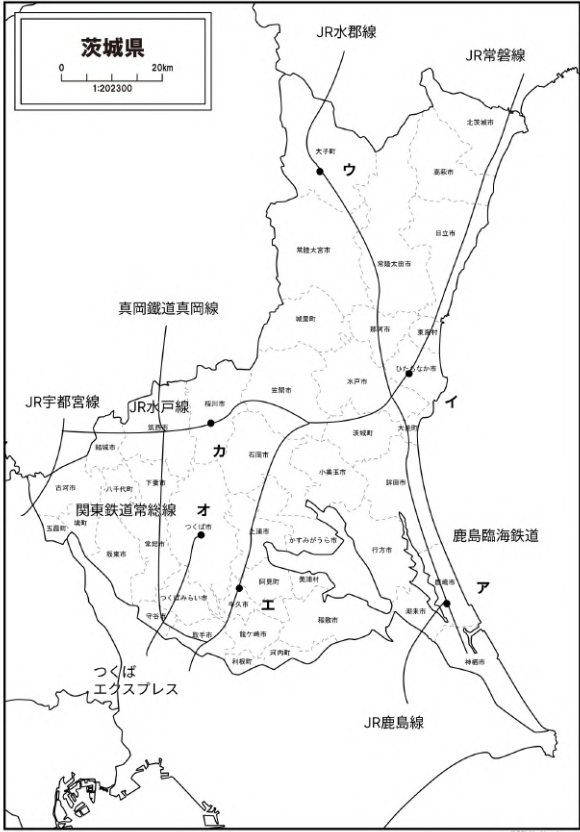


図 1

A：当地にはかつて、1980 年代に近隣で行われた万国博覧会の訪問者を輸送するための臨時駅が設置されていた。

B：当地は、あるスポーツの国内トップリーグに属するチームのホームスタジアムの最寄駅である。

4

5

① ア

② イ

③ ウ

④ エ

⑤ オ

⑥ カ

解答・解説

計 16 点

問題番号	正解	配点
1	③	4
2	⑤	3
3	①	3
4	④	3
5	①	3

出題のねらい

来年度の大学入学共通テストの「茨城県」の予想問題である。大問 1 は人口・社会、大問 2 は自然環境、大問 3 は産業、大問 4 は歴史について出題されるものと思われる。

問 1 [全県人口の概観]

茨城県の人口は 292 万人 (2020 年) であり、全国 11 位の人口を擁する。茨城県は**人口上位 15 都道府県のうち、政令指定都市をもたない唯一の県である。**

12 位：広島県 (282 万人)、13 位：京都府 (254 万人)、14 位：宮城県 (229 万人)、15 位：新潟県 (223 万人) であるが、いずれも政令指定都市をもつ。

茨城県は**最大都市の水戸市でも 27 万人しかおらず**、人口が県内各都市に分散している。理由は県全体の可住地面積の割合が他県に比べて高いことが挙げられる。よって答えは ③。

問 2 [人口減少・人口増加]

(i) イに該当するのは ⑤ つくば市である。つくば市域は、**筑波研究学園都市**の建設開始以降人口が増加し続け、2022 年に 25 万人を突破した。なお、③ 小山市、⑥ 伊勢崎市はそれぞれ栃木県、群馬県の自治体である。

(ii) アに該当するのは、日立市 (前問 ②) である。

① **不適当である。**「近隣の原子力発電所」は、那珂郡東海村の東海第二原発などの原子力関連施設群のことだが、周囲の住環境に影響を与えるほどの事故は起こしたことはない。

- ② 適当である。同様の問題は全国規模で起こっている。
- ③ 適当である。日立市は日立製作所を中心とする日立グループの創業の地であり、企業城下町として栄えている。近年の日立グループの経営再編により、住民数が減少している。
- ④ 適当である。近隣のひたちなか市や東海村への人口流出が多い。特に東海村は茨城県内での住みやすさランキングで上位にあり、なおさら ① は不適當ということになる。

問3 [県内交通・鉄道編]

A：答えは ④（エ：JR 常磐線 ひたち野うしく駅）。「近隣で行われた万国博覧会」は現在のつくば市で 1985 年に行われた国際科学技術博覧会（通称つくば科学万博）。万博の臨時駅（万博中央駅）として半年間運用されたのち、地域住民の請願により 1998 年に恒久駅として運用を開始した。

なお、⑤（オ：つくばエクスプレス つくば駅）は、つくばエクスプレス自体の運用開始が 2005 年であるため誤り。

B：答えは ①（鹿島臨海鉄道、JR 鹿島線 鹿島サッカースタジアム駅）。サッカー J1 鹿島アントラーズのホームスタジアムの最寄駅である。

なお、

- ② JR 常磐線 勝田駅（東京発の常磐快速線にも勝田止まりが多い。）
- ③ JR 水郡線 袋田駅（日本三名瀑「袋田の滝」の最寄駅。）
- ⑥ JR 水戸線 岩瀬駅（かつて筑波鉄道の終点であった。）

参考文献

帝国書院.『地理データファイル 2021 年度版』.(2021).

日立市.『日立市の人口のうつりかわり ～明治から令和まで～』.(2022).

<https://www.city.hitachi.lg.jp/> (2023 年 8 月 13 日閲覧).

つくば市.『統計つくば』.<https://www.city.tsukuba.lg.jp/> (2023 年 8 月 13 日閲覧).